

1.1. 決算総括(1-3Q累計)

1 連結ベース

▶ 移動通信事業 (au + ツーカー) は引続き好調であり、固定通信事業の減収を吸収し、売上は対前年同期比+1.6%、営業利益は同+6.2%の増収・増益。

2 移動通信事業 (au + ツーカー)

▶ 売上対前年同期比+7.5%、営業利益同+30.7%の増収・増益。

▶ 12月末累計シェア27.4% (au:23.9%、ツーカー:3.5%) に対し、1-3Q累計の純増シェア49.2% (au:63.8%、ツーカー:-14.6%) でトップと引続き好調。

▶ auのWIN契約者は12月末675万と着実に増加。うち、定額制契約率81%。

▶ ツーカーのauへの同番移行はスムーズに進捗し、3Qに35万。

3 固定通信事業

▶ メタルプラス拡販等により、営業利益は 438億円に。

▶ メタルプラスは着実なエリア拡大に伴い、3Qに開通が加速。12月末117万回線開通。

▶ パワードコムを合併(1月1日付)。

4 その他

▶ FMCの推進を図るべく、新たにコンシューマ事業統轄本部とソリューション事業統轄本部を設置(12月1日付)。

1.2. 2006年3月期の業績見通し(1)

期初予想 今回予想(増減)

1 連結ベースでは、新たにツーカーのauへの同番移行やパワードコム合併の影響を折込み。移動通信事業の好調により、メタルプラスの開通遅れに伴う固定通信事業での減益をカバーし、期初予想の営業利益を堅持。

▶ 売上	: 29,760億円	30,410億円 (+ 650億円)
営業利益	: 2,890億円	2,890億円 (- 億円)
	- うち 移動通信事業 :	(+ 210億円)
	- 固定通信事業 :	(210億円)

▶ 主な理由

✓au ARPU	: 6,810円	7,000円 (+ 190円)
✓移動通信事業累計契約数	: 2,503万	2,528万 (+ 25万)
✓ツーカー同番移行数	: -	70万 (+ 70万)
✓メタルプラス累計契約数	: 220万	170万 (50万)

(注) 数値はセグメント表示があるものを除き、全て連結ベース。

1.2. 2006年3月期の業績見通し(2)

期初予想 今回予想(増減)

2 当期純利益は、ツーカーのPDC設備等の減損損失の計上を見込むが、パワードコムとの合併による法人税等の軽減を見込み、1,870億円で変更なし。

▶ 主な理由

✓ ツーカーのPDC設備の減損損失	: 約	900億円
✓ <u>固定系国内伝送路(情報BOXケーブル)の減損損失等</u>	: 約	100億円
税効果(40%)考慮後	: 約	600億円

✓パワードコムとの合併による法人税等及び法人税等調整額の軽減分:約 600億円

(備考)当面ツーカーの端末販売も継続。顧客の移行状況を見ながら、PDCシステムの廃止時期は別途検討。

3 設備投資の見通しは4,400億円で変更なし。